



日本ファンクションポイントユーザ会

Japan Function Point Users Group (JFPUG)

- ・1994年にIFPUG日本会員連絡協議会として発足し、1996年に日本ファンクションポイントユーザ会（IFPUGの正式な日本支部）として設立しました。
- ・本会は、会員相互の情報交換と親睦を図り、ファンクションポイント法の理解やその利用法、さらにはソフトウェアの定量化手法の検討を通し、国内への普及・展開を目的としています。

役員一覽

会長	藤貫 美佐	株式会社エヌ・ティ・ティ・データ
副会長	榊原 彰	(個人会員)
会計役員	倉重 誠	株式会社 日立製作所
事務局長	林 光信	日本システム技術株式会社
会合担当役員	宇野 和義	富士通株式会社
技術担当役員	井上 智史	T I S 株式会社
教育担当役員	宇野 和義	富士通株式会社
研究推進担当役員	小椋 隆	S C S K 株式会社
会員サービス担当役員	滝本 雅之	株式会社エヌ・ティ・ティ・データ
普及推進担当役員	玉置 龍也	日本アイ・ビー・エム株式会社
国際化担当役員	梶山 昌之	株式会社 D S R
企画担当役員	池上 俊也	株式会社 日経 B P
監査役員	初田 賢司	株式会社 日立製作所

主な活動内容

- ファンクションポイント法に関する研究・教育・普及活動
- ソフトウェア開発の生産性データの収集・分析・活用
- ソフトウェア開発のメトリクスや定量化、見積もり、プロジェクトマネジメント技法に関する研究

作業部会

ソフトウェアの定量化や見積もりの手法について主に研究

計測技術委員会(CPC)	FP計測ルールの解説・補完 計測上の疑問への回答(カウンティングクリニック, 会員用Q&A)
COSMIC検討会	COSMIC法の評価・普及(組込み系、リアルタイム/制御系) 事例への適用、講習会の実施
CPM翻訳作業部会	ファンクションポイント計測マニュアル(Counting Practices Manual)をはじめとするIFPUG出版物の日本語翻訳とJFPUG会員への提供
教育検討委員会	講習会(FP計測コース、メトリクス活用コース)の実施、講習会の企画および資料作成、出張教育の実施
CFPS試験実施委員会	CFPS(IFPUG認定ファンクションポイントスペシャリスト)の情報交換、CFPS国内試験開催、試験問題の翻訳
FP活用研究会	FP活用の課題の対策や定量データを利用する活動改善のための検討 FPベースのソフトウェア開発データの収集と結果分析
ビジネス活用研究会	FP法及びソフトウェアメトリクスのビジネスにおける活用の検討 情報システム受発注における価格モデルの研究
会員サービス委員会	FP法及びソフトウェアメトリクス関連技術の普及と活動インフラの整備 機関誌『JFPUG News』の発行と、JFPUGホームページの企画・運営
国際委員会	FP法及びソフトウェアメトリクス関連団体との連携・交流、情報交換 国際諸団体(IFPUG、ISBSG、COSMICなど)の最新動向の情報提供

アジャイルへの高い関心

JFPUG会員（法人150社、個人19人）

ウォーターフォール型の大規模開発プロジェクトでしごかれた、プロジェクトマネージャーやSE、品質保証部門、PMO、生産技術部門



アジャイルはもはや必然。特にエンタープライズアジャイルを取り入れたい！

でも、契約形態や見積もり、社内の意識改革が壁に

定例会での主な議論

アジャイルプロセスの見積り～ 変更分を意識した見積り事例 株式会社 日立ソリューションズ 英 繁雄 氏

概要: アジャイルプロセスは、基本的には開発途中でも変更を受入れながら開発を進めていきます。特に受託開発の場合、変更受入れ分に対する計画の立て方と、発注側と開発側が合意できる工数見積り方法が課題となります。本発表では、アジャイルプロセスの一般的な解説の後、受託開発でハイブリッドアジャイルを適用した事例を基に、FP法からの全体計画の作り方と変更分に対する見積り方を、ひとつの事例としてご紹介いたします。

「アジャイルプロジェクトの見積もり技術」 株式会社ゼンアーキテクト 岡 大勝 氏

概要: 「アジャイルは、見積もりも計画もいいかげんなんでしょ」。アジャイルというソフトウェア開発手法は、その柔軟性がともすれば「開発者にとって都合のいい進め方」と解釈されることも少なくありません。しかしアジャイル開発の本質は、「ソフトウェアとソフトウェア開発活動の特性を踏まえて、可能な限り見積もり精度を高める」ための手法だと言えます。本講演では見積もり技術を中心に、アジャイルに内包されるエンジニアリングのアプローチについてご紹介いたします。